

都市強靱化プロジェクト推進会議 趣旨

背景

- 気候変動の影響により頻発化・激甚化する風水害、いつ起きてもおかしくない首都直下地震や火山噴火、未知の感染症など、これまで経験したことのない危機に直面する可能性
- 東京2020大会の「危機管理」の取組をレガシーとして、一日も早く安全・安心な都市を実現するためには、これまで以上に迅速に対策を進めていく必要性
- 都市づくりのグランドデザインで示した交流・連携・挑戦の都市構造を着実に形成することはもとより、インフラストックを最大限活用した上で、あらゆる災害への備えを更に強化

目的

- 災害に備えた都市のあるべき姿を明らかにし、都市強靱化への道筋をつけるプロジェクトを策定
- 都市やインフラのあり方を示した上で、バックキャストで考え、長期的な視点から取るべき施策を盛り込む
- 各局が持つデータやシミュレーションなどの資源を活用し、全庁的に共通の目線から、取組をレベルアップ
- 目指す姿と対策を都民に分かりやすく示し、危機意識を共有し、都市強靱化に取り組む気運を醸成

【スケジュール】



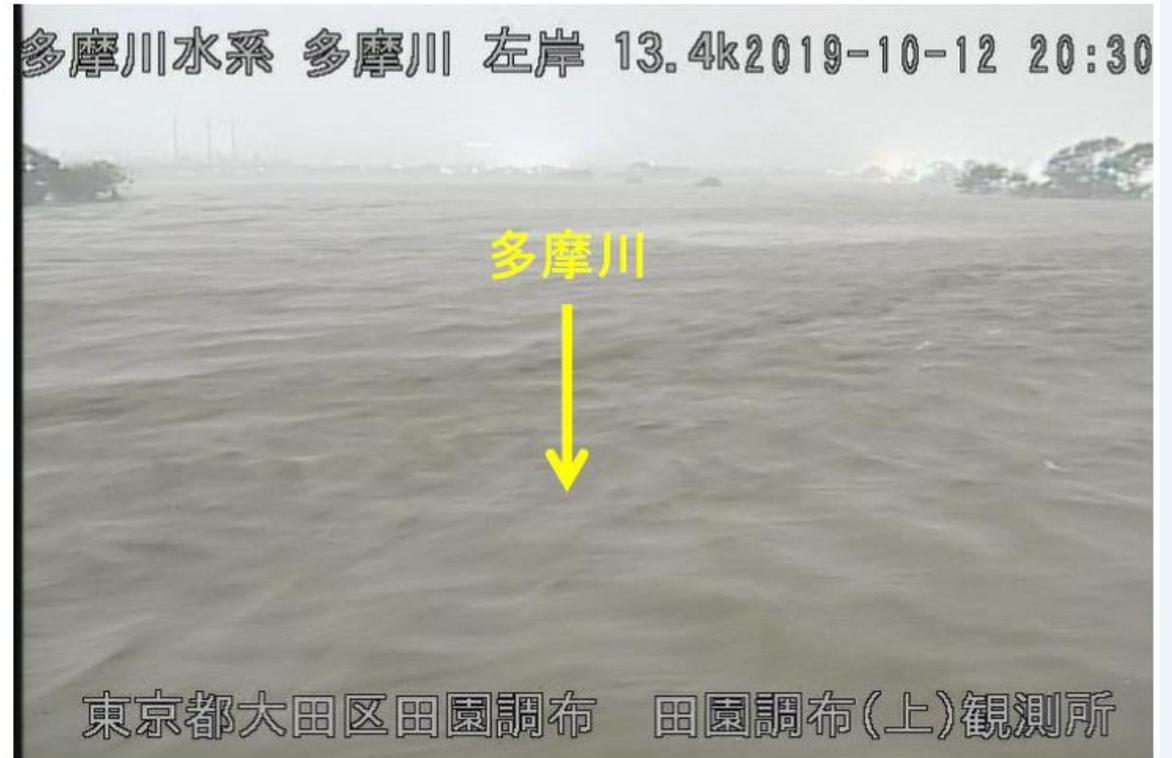
※本プロジェクトの策定後、「未来の東京」戦略のバージョンアップ等に反映

風水害

【令和元年10月 台風19号による大雨で増水した多摩川】

平常時

10月12日20:30頃



風水害

【荒川氾濫のイメージ】



風水害

【令和元年9月 台風15号の暴風により倒壊した電柱等（千葉県千葉市）】



出典：国土交通省 HP

地震

【平成28年4月 熊本地震による斜面崩壊】



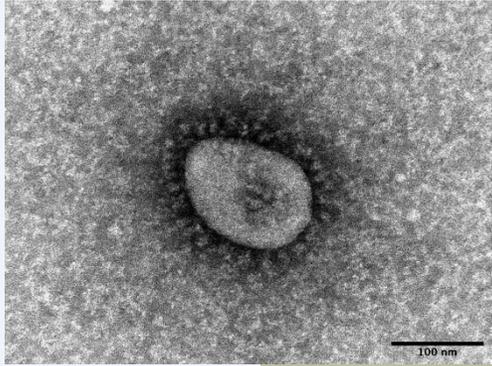
火山

【平成25年8月 桜島噴火による降灰被害状況】



未知の感染症

【世界における感染症】



出典：[左画像] 国立感染症研究所 提供
国立感染症研究所で分離された新型コロナウイルス SARS-CoV-2 B.1.1.529 (オミクロン)

[中央画像] 東京都「東京アルバム」都政記録写真
(2022.1.12 健康安全研究センターにおけるオミクロン検査)

- 1918年～ スペイン風邪
- 2002年～ 重症急性呼吸器症候群(SARS)
- 2014年～ エボラ出血熱
- 2019年～ 新型コロナウイルス感染症



出典：[右画像] the National Museum of Health and Medicine.
NCP 1603 - Emergency hospital during influenza epidemic,
Camp Funston, Kansas.

未知の感染症

【コロナ禍における人々の意識の変化】



災害時電力確保

【令和4年3月 都内停電状況】



都内の停電 武蔵野市（2022年福島沖地震）